

## 令和 2 年 度 事 業 計 画

## 1 事業内容

2020年度函館線（函館・小樽間）旅客流動調査・将来需要予測・収支予測調査

## 2 調査の目的

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）開業に伴う函館線（函館・小樽間）経営分離後の公共交通機関による地域交通の確保方策を検討するため、第三セクター鉄道及びバス転換に係る収支見通し等を調査する。

## 3 調査内容

- 函館線（函館・小樽間）の利用者数、利用目的、乗降駅等を調査
- 第三セクター鉄道及びバス転換における需要予測・収支予測調査（開業～30年後）など

## 4 調査方法

## (1) 実施主体

北海道新幹線並行在来線対策協議会が委託により実施する

## (2) 実施時期

令和2年4月から令和3年3月まで

## (3) 調査費用

## 《 所要見込額 》

35,000,000円

（委託調査費：34,980,000円、事務費：20,000円）

## 《 負担額及び負担割合 》

| 機関名  | 負担額         | 負担割合   |
|------|-------------|--------|
| 北海道  | 17,500,000円 | 50.0%  |
| 市町   | 17,500,000円 | 50.0%  |
| 函館市  | 2,571,000円  | 14.69% |
| 小樽市  | 1,719,000円  | 9.82%  |
| 北斗市  | 1,159,000円  | 6.62%  |
| 黒松内町 | 818,000円    | 4.68%  |
| 蘭越町  | 912,000円    | 5.21%  |
| ニセコ町 | 880,000円    | 5.03%  |
| 倶知安町 | 1,090,000円  | 6.23%  |
| 共和町  | 868,000円    | 4.96%  |
| 仁木町  | 837,000円    | 4.79%  |
| 余市町  | 917,000円    | 5.24%  |
| 七飯町  | 1,320,000円  | 7.54%  |
| 鹿部町  | 798,000円    | 4.56%  |
| 森町   | 1,374,000円  | 7.85%  |
| 八雲町  | 1,183,000円  | 6.76%  |
| 長万部町 | 1,054,000円  | 6.02%  |

※ 北海道と市町が2分の1ずつ負担することとし、各市町間の負担割合は、均等割、キロ程割、財政力指数、人口割の指標に基づき設定。

#### (4) 委託先

##### 《 契約の相手方 》

函館線（函館・小樽間）に係る旅客流動調査及び将来需要予測・収支予測調査事業  
協同提案体

代 表：株式会社トーニチコンサルタント

構成員：H R S株式会社

##### 《 選定理由 》

- ・ 代表である株式会社トーニチコンサルタントは、並行在来線の先行県において、需要予測及び収支予測に関する調査を数多く受託しており（計11県）、豊富な経験と実績を有している。また、構成員であるH R S株式会社は、道内（小樽市）に本社を置き、平成24年に江差線（五稜郭・木古内間）に係る旅客流動等調査等の道内並行在来線に関する調査においても同様に構成員として受託しており、道内における調査員の確保や関係機関との調整等、経験と実績を有している。
- ・ 並行在来線の鉄道経営の収支予測等に当たっては、専門的な知識や経験、また収集したデータを的確に解析する能力等が必要とされるが、株式会社トーニチコンサルタントは、調査に不可欠なノウハウ、他県における調査結果等のデータを多量に保有するとともに、過去の実績からデータ解析を行う能力等が豊富に蓄積されていることから、最も精度の高い調査結果を導き出すことができる事業者であると認められる。